

繁華街安心カメラについて

繁華街安心カメラの稼働状況についてご報告します。

1 設置目的

コンベンション都市横浜として、市民をはじめ、国内外から多くの人を訪れる市内都心部の主要繁華街5地区（横浜駅周辺、みなとみらい 21 地区、関内地区、関外地区及び新横浜駅周辺）において、災害や事故等の緊急事態が発生した際、早期に現場の状況把握や、迅速な対処を行うため、併せて犯罪抑止効果等も期待し設置しました。

2 稼働状況

平成 19 年度から設置・運用しておりますが、24 年度からは東日本大震災の発生を受けて、地震対策を最優先で進めていく必要があったことから、全台数 252 台を稼働できるだけの予算を確保することができず、設置したカメラの一部を休止させておりました。

なお、カメラの休止にあたっては、休止箇所や台数について、消防本部及び神奈川県警察本部との調整を行いました。

場所	横浜駅周辺	みなとみらい 21 地区	関内地区	関外地区	新横浜駅 周辺	合 計
設置台数	39 台	39 台	73 台	64 台	37 台	252 台
稼働台数 (内数) (H25.6.1 現在)	24 台	39 台	40 台	27 台	20 台	150 台

3 活用実績

救急・火災、風水害や大規模イベントなどの現場確認に活用しております。

また、県警からの捜査協力等にも活用しております。

（平成 24 年度：現場確認 116 回、捜査協力 151 回）

4 今後の対応予定

本年 5 月 13 日に開催された神奈川県市長会議で、改めて神奈川県警察本部よりご要望をいただきましたので、全台稼働に向けて手続きを進めていきます。

【参考】繁華街安心カメラの経費

① 初期導入費（H17～H20 年度の工事費他） 418,411 千円

② 運用経費（平成 23 年度決算ベース） 60,055 千円

〔内訳〕	通信費	52,197 千円
	保守費等	5,723 千円
	電気代	1,853 千円
	電柱共架費	282 千円